

るは同時に、他方に於て、主觀的美を發表せしむること
 とに於て、其の目的を達し得るのみならず。眞個の考察
 に依るときは、客觀を模寫せしむるは寧ろ主觀を發表
 せしむる爲の方便なるや知るべからず。吾人は之を或
 畫家に聞けり、幼稚園に於て頗巧なりし兒童が反つて、
 學校に出で、甚しく劣るに至りしは、學校に於て、隨
 意の發表を束縛したるに依るなりと。この方面より見
 る時は、羊本と實物を以て攻め附ける外に、更に自由
 に自家の思想を發表せしむるを要す。

(四) 應用せしむることの少きは又今日の缺點といはざ
 るべからず。他學科の教師は自己に畫の思想なきがた
 め、必然に講に要すべき場所に於てすら、其挿入せざ
 るを看過し、若くは其不正の講法を正さざるが如きこ
 と之あり。

五) 圖畫教授に於ては、他の學科と同ぐ、幼兒の心

理的發達の順序に従はざるべからず。一般の初歩教授
 の順序は、畫學の論理的順序に依りて松葉梯子の如き
 直線に初まりて後曲線に進むといへども、止しく眞直
 に線を引くとは、ゆがみなりに曲線を引くよりは頗る
 困難にして、自然に任せられたる幼兒の發表は、悉く
 曲線的なるに依りて明なり。物形は凡て直線を基とし
 て、觀察するを得べしといへども、これ寧ろ論理的順序
 にして實際上手の練習の尙未積まざる幼兒々童に取り
 ては、曲線は寧ろ直線よりは容易なるものなり。

應 問

問(一) 教育思想のり、又女子の訓育をなすの餘暇ある
 母親、之が教育を司るならば、幼稚園教育を受けし
 むる必要なきか。

答 家庭教育と幼稚園教育とは別のことにして、もし

完全なる家庭ありと假定せんか、無論かかる家庭にて養育せらるゝ効果は非常に大なりと雖、家庭にては皆

其一族のみなれば、家庭に於ての一員を作る上より云へば十分なるべし、然りと雖、他日社會に出て、社會の一員たる爲には、猶其準備不足なりと云ふべし、故に之に加ふるに、幼稚園教育を以てし、社交的の基礎を置くの必要あり、之れ完全なる家庭の子女も更に幼稚園教育を受けしめざるべからざる所以なり 加之、

家庭にて如何によく運動の便利を備へ、遊ぶためには兄弟ありとも、年長なるは學校に出づべければ、其伴侶至て少きが故に、淋しげにして何となく氣の毒なる心地せらる、幼稚園に入らんか、間食して身體を悪しくすることもなく、交友の愉快は十分なる運動を奨勵し、身體の發育を助くること大なり。

問二) 上流社會にては、父母に教育思想あり、之が監

督も世話も充分に届くべければ、強て幼稚園の必要なるべきか。

答、現今、上流社會の事を聞くに、下等社會の如く、子女を放任するものはならず、皆附添なるものありて、これに其世話を一任するもの、如し、然れども其附添なるものは、教育思想を有するものは至て少く、又中等社會子女の如く慈愛深き父母の手に人となるにもあらざれば、届くが如く見えて却て實際は然らざるもの多し、従て其性質の矯正を要するものも多きが如し、且前問の如く、完全なる家庭に於てさへも、其必要ある處なれば、假令上流社會なりとて、必要なしとは云ふべからざるなり。